

# 光と緑の風通信

発行/2020年11月2日 編集/福島県立医科大学看護学部 〒960-1295 福島市光が丘1番地 Tel.024-547-1111 (代)

## 入学おめでとうございます

看護学部長 坂本 祐子



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんにとっても、私たち教職員にとっても前代未聞の新学期が始まり5か月が経過しました。大学で学ぶこと・看護学を学ぶことが身近に思えるようになってきているでしょうか。

また、保護者の皆様におかれましては、入学式の中止に伴い就学環境をみることもなく、お子様方を送り出したこと、どんなにか不安だったかと推察いたします。看護学部では、同級生間、学年を超えた学生間、学生と学部教員の交流の一助となればと思い、期間限定のホームページを開設しております。少しお子様方からお耳に入っているでしょうか。

1年生の皆さんは、まだ数回の実技演習でしか同級生に会ってはいませんが、仲間ができ始めているでしょうか。実技演習は、同級生同士で看護師役・患者役になり行うことが多いです。同級生の顔と名前が一致するようになるとよいですね。また、11月には初めての臨地実習が予定されていましたが、今年度は学内演習に置き変わりました。臨地実習になると緊張から体調管理が難しくなる学生さんがいます。自分の健康管理ができることも看護学生として大切なことですので、普段から心がけてください。

最後に全学年の保護者の皆様、今年度は新型コロナウイルス感染症のため例年通りの教学が難しくなっております。大学・看護学部教職員一丸となり取り組んでおりますが、疑問点等ありましたら、いつでもお問い合わせください。 (さかもと ゆうこ)

## 厳しい環境下での学び

看護学研究科長 高橋 香子



令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応に追われ慌ただしい中でのスタートとなりました。オンライン授業、学内立ち入り制限(現在は緩和されました)とこれまでとは大きく異なる環境の中、有職者が多い大学院生のみなさんも戸惑うことが多かったのではないかと思います。しかし、苦境の中にあってもそこ人間や物事の本質が問われるとも言います。環境に応じて柔軟に変化させ対応すべきことと、いかなる環境であっても揺るがしてはいけないもの。半年がたち、まだまだ予断は許さないこの状況下で学ぶということは、看護職者として、あるいは教育・研究者としての自身のありよう、看護実践の本質を見つめなおす機会ととらえることもできるのではないのでしょうか。

研究は、「研ぎ澄まし究めること」の語義どおり、物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理などを明らかにすることです。大学院生の皆さんが、本学看護学研究科の扉をたたき、ここにいるということは、皆さんそれぞれの中に確かめたい、明らかにしたい何かがあり、研究というプロセスを通して探求し、確かな事実(evidence)を手に入れて、看護実践の質向上につなげたいとの思いがあるからだと思います。厳しい環境下ではありますが、本学看護学研究科に入学した志と学友や教員との学びの機会を大切に、2年後、3年後に皆さんが出す成果が看護職者共有の知的資産となることを期待します。

(たかはし こうこ)

# 新入生のこと ひとこと



## 看護学部 新入生 コメント

※コメントは承諾を得た方のみ掲載しています。

**秋元 千尋** あきもと ちひろ 学部生

心配などは多いですが、これから同級生、先輩たちと関わる機会が増えることへの期待の方が大きいです。これからよろしくお願ひします。

**安彦 来夢** あひこ りむ 学部生

昨今の新型コロナウイルスの問題も日本大震災などの経験を踏まえて、さらなる安全対策が求められています。これまで受けた授業だけでも今でも自分の中にある看護士に対する考えがぐんぐん変わってきています。今後、これからの医療のために看護士として学びを深める努力をしていきたいです。

**阿部 夏実** あべ なつみ 学部生

医大に入ってから、おとという間に数か月が経ちました。このような状況の中、大学に行くことができて、しかも、このように知識や技術を身につけることができるとは本当に人間性も高められたように感じています。

**五十畑 旭** いしかば あさひ 学部生

福島県立医科大学に入ることが出来た良かったです。しかし、大学に入ることが目標ではなく、将来良い看護師になれるように大学の勉強を頑張りたいと思っています。

**佐藤 寿彦** さとう ひろひこ 学部生

まだ例年通りの大学生活を送ることができず、少し残念な気持ちではありますが、こんな状況だからこそ得られるものがあると思います。勉強も部活もしっかりと取り組むことで充実した4年間にしていきます。

**佐藤 穂花** さとう ほのか 学部生

想像していた楽しいキャンパスライフとは異なり、すが、これからの仲間と友達をつくらせて頑張りたいです。

**三瓶 未空** みづい みく 学部生

顔も見えない遠隔授業は不安だらけでした。7月に入ってからやっと大学生なんだという実感が湧き、友人もできました。授業や実習、部活動などを通して理想とする助産師になれるよう努力を積み重ねていきます。

**鈴木 優里菜** すずき ゆりな 学部生

大学入学を機に人暮らしを始めて、改めて両親のありがたさを感じています。大学の授業は、いろいろな大変なことがあると思いますが、精一杯努力をして、4年間をしっかりと看護の知識を身に付けていきたいです。

**鈴木 里穂** すずき りほ 学部生

コロナであまりみんなに会えず、楽しみにしていたサークル活動も何もできないままですが、逆に後期から沢山の出会いがあることを期待できます。充実したキャンパスライフになるように頑張ります。

**須田 千尋** すた ちひろ 学部生

これからの4年間を充実したものにできると、看護士というものに向き合っていく中で、大学生活を充実させたいと思っています。

**関本 美紅** せきもと みく 学部生

入学してから約3カ月が経ちましたが、前期はオンライン授業というところもあり、大学生活になつたという実感があまりないです。これから充実した大学生活を送りたいと思っています。

**高橋 湖々** たかはし こい 学部生

県外から福島医大に入ってから、月に例年通り大学生活を送っているわけではないですが、大学での学習の機会も増えて最近では充実しているなと感じています。また、これからの大学生活を楽しみたいです。

**高橋 美優** たかはし みゆ 学部生

大学に入ってから、対面授業が少ないため大学生活の実感がわいてこないのですが、少しずつ大学に慣れて、自分が理想とする看護士になるための勉強を頑張ります。

**五十嵐あゆ菜** いがらし あゆな 学部生

新型コロナウイルスの影響でオンライン授業が続き、自分福島県立医科大学看護学部への員になったという実感があまり湧きませんが、充実した濃い4年間を過ごしたいです。頑張ります。

**五十嵐佑花子** いがらし ゆかこ 学部生

入学して早4か月、毎日パソコンとにらめっこする生活が続いていますが、やがて対面授業が再開される。新しい友人と会えることを楽しみに通学しています。4年間を将来の夢を見つづけることが目標です。

**石井 佳菜** いしい かな 学部生

想像していた大学生活とは少し違うスタートでしたが、自分自身で頑張ってきたこと、この4年間で自分の目指している看護士像に近づいていっているように頑張っています。

**石川 優津希** いしかわ ゆづき 学部生

まだ慣れないことが多いですが、先生や先輩、友人に恵まれました。この環境で勉強に励むことができることに感謝し、充実した大学生活を送りたいと思います。4年間頑張りたいです。

**石橋 瞭子** いしはらりょう子 学部生

私は将来、福島県に貢献できる看護師になりたいと思っています。そのために、この大学で地域医療などについても詳しく学びたいです。また、サークル活動も積極的に、文武両道を目指していきたいと思っています。

**武田 莉奈** たけだ りな 学部生

設備や自然など学ぶ環境が整っているこの大学で学ぶことが、とても嬉しい。将来医療に携わる者として沢山の知識を吸収したいと思っています。

**田中 大地** たなか だいち 学部生

新型コロナウイルスの影響で想像していた大学生活とはかけ離れたものになってしまいましたが、この状況だからこそ得られる経験もあると思うので、困難に負けず、立派な看護師になれるよう頑張りたいです。

**津田 優衣** つただ ゆい 学部生

4年間で看護について学び、社会に貢献出来る看護師になりたいです。また、部活動などを通して、コミュニケーション能力も高めたいと思います。自分の目標とする看護師になれるよう全力で頑張ります。

**續橋 愛菜** つづきはい菜 学部生

このコロナの影響で最初からオンライン授業という状態になってしまっています。でも、その分、初めての大学の友達や先生方に会えた時の嬉しさが想像以上に、とても強いです。

**遠山 拓弥** とおやま たくみ 学部生

慣れない大学生活のなかで、勉強と部活に精進し、少しずつ学びながら楽しい大学を送りたいと思います。また、入学してからも成長し、確かな目標を持って大学4年間を充実したものにしていきたいと思っています。

**戸田 怜奈** とだ れいな 学部生

入学してからあまり来学できずまだ慣れないことも多くありますが、これからの4年間で専門的な知識や技術をしっかりと身に付けられるよう、一生懸命頑張りたいと思っています。

**中澤 悠翔** なかざわ ゆうと 学部生

まだまだ不慣れな事も多いですが、大学生活を通して専門的な知識や経験を深め、より良い生活を送りたいです。

**永沼 日那姫** ながぬま ひなぎ 学部生

入学してからずっと遠隔授業でしたが演習やテストで入学へ行くようになって、大学生活になったという実感が湧きました。サークルも勉強などを両立し、充実した大学生活にしていきたいです。

**布川 未夏** ぬのかわ みか 学部生

医療職を目指す者であるからこそ、コロナ禍の中で学ぶことも多いのではないかと考えています。大学4年間の学びを充実したものにできるように頑張りたいです。

**和泉 明利** いずみ あかり 学部生

医療を通して人の役に立つ仕事がしたいと思ひ看護士を志しています。入学し自分の理想の看護士像に近づけるよう4年間頑張りたいと思います。また、学習だけでなく人の関わりも大切にしていきたいです。

**伊藤 芽生** いとう めい 学部生

少しずつ大学へ通うことができて、授業や友達と会えることがとても楽しいです。これから勉強やサークル活動などに積極的に取り組んでいきたいです。4年間よろしくお願ひします。

**上野 あさひ** うえの あさひ 学部生

前期の授業はほとんどがZoomによるもので不安がありました。先生方が分かりやすく進めてくださるので安心して取り組めました。今後の大学生活が楽しみです。

**遠藤 光都** えんどう みか 学部生

今年はいよいよ新しい大学生活のスタートとはいきませんが、演習なども始まり段々と実感が湧いてきました。特殊な環境の中ですが、医大での生活を充実させ目標に向かって頑張りたいと思います。

**及川 紗英** おいかわ さえ 学部生

思い描いていた大学生活とは異なる形でスタートし不安がありました。大学のサポートもあり楽しく過ごせています。前期は学校に通学する機会が少なかったですが、通学が楽しみです。これからよろしくお願ひいたします。

**大塚 遥奈** おおつか はるな 学部生

4年間を通して、勉強や部活から多くの刺激を受けて充実した学校生活を送りたいと思います。また、理想とする看護士像に近づけるよう頑張りたいです。

**大槻 寛太** おおつき かんた 学部生

オンライン授業を楽しんでいると言えない大学生活がスタートしてしまいましたが、これからは半年半ば、しっかりと頑張りたいです。この大学で地域医療などについても詳しく学びたいです。また、サークル活動も積極的に、文武両道を目指していきたいと思っています。

**大久 琴末** おおひこ ことみ 学部生

オンライン授業をいつの間にか覚えることができて、とても安心です。これから福島医大生として、福島県のみならずさまざまな地域に貢献できるように日々努力していきたいと思っています。

**野木 藍衣** のぎ あい 学部生

前期がオンライン授業だったという事もあり、学校生活に不安を抱いていましたが、友達も先生も温かい人ばかりで毎日楽しく過ごせています。自分の夢を叶えるために4年間しっかりと勉強していきたいと思っています。

**芳賀 あかり** はが あかり 学部生

ずっと憧れていたこの大学で看護を学ぶことができると嬉しい。勉強や部活に励むほか自分が興味を持った様々なことに挑戦し、楽しく充実した4年間を送りたいです。

**箱崎 みらん** はこばき みらん 学部生

福島県立医科大学に入ることができて本当によろしいです。勉強も部活も全力で励み、充実した大学生活を送れるように頑張りたいです。

**畑中 結花** はたなか ゆうか 学部生

入学式もなくなり、遠隔授業のため自宅で授業のやり取りが主です。でも、これだけで満足しています。また、これからの夏休み後に、本来の大学生活が出来るように頑張りたいです。

**服部 日菜子** はつべ ひなこ 学部生

県外出身で心細かったですが、友達もたくさんできて毎日楽しく過ごせています。遠隔授業など慣れないこともありますが、うまく状況に適応してこれからの学校生活も頑張りたいです。

**樋口 志穂** ひぐち しほ 学部生

コロナによる影響で、サークルや対面での授業など、大学の良さは全部は堪能出来ていないですが今の状態でも十分楽しいです。この大学に入ることができて、とても良い看護士を目指して頑張ります。

**平澤 新子** ひらさわ にこ 学部生

看護士になるための第一歩をこの学校で踏み出したことを嬉しく思います。コロナウイルスの影響で、登校が難しい中ですが、これからの学校生活を楽しみます。

**福田 ひかる** ふくだ ひかる 学部生

例年とはだいぶ違うスタートに初めは戸惑いましたが、徐々に学校にも慣れつつあります。これから大学生活がどうなるかわかりませんが、大学ではいろいろな経験が待っていると思います。

**福地 芽生** ふち みゆ 学部生

オンライン授業で視力は落ち、頭痛くなる日が多くありました。早くコロナウイルスが収束し、例年通りの生活が送れるようにないと思っています。

**大山 紗葵** おおやま さき 学部生

コロナで授業も部活も思うように出来ず、先輩方や同級生に会うことも出来ず、悲しい思いです。早く普通の大学生活を送り、立派な医療人になれるよう、毎日の学びを大切にしながら成長していきたいです。

**小沼 理恵子** おぬま りえこ 学部生

慣れない状況の中、大学生活が始まり困惑もありましたが、周囲の人の良さを吸収しながら、友人と共に4年間を通して学び、自分の求めるものを模索しながら目標に近づいていきたいと思っています。

**小野 陽子** おの ようこ 学部生

入学して数ヶ月が経ちましたが数える程しか登校してないです。休み明けの学校生活が待ち遠しくもあり不安もあります。4年間を通して看護士としても人間としても成長できるように様々な事に挑戦したいです。

**菅野 裕太** かん の ゆうた 学部生

できる限りで大学生活を楽しんでいきたいです。この4年間、自分の目指す看護士になれるよう、専門知識を身につけること、人間的に成長すること、目標を努力したいと思います。最後に自信をもって有意義な日々を送る大学生活にしたいです。

**菅野 裕太** かん の ゆうた 学部生

コロナのため未だ通常の大学生活を送れていませんが、今後勉強とサークル活動を両立し、自分の看護士を目指して頑張りたいです。

**菊池 明香里** きくち あかり 学部生

福島県立医科大学に入ることができて非常に嬉しいです。また、他県出身の福島県民もたくさん知れたらと思います。4年間よろしくお願ひいたします。

**木村 香都** きむら こと 学部生

今年がコロナの影響で普通の大学生活は送れていませんが、医大でのこれからの4年間をそれに負けないくらい元気な姿で過ごしていきたいです。

**小齋 ひかる** こさい ひかる 学部生

昨今の大変な状況の中、福島県立医科大学に入ることができ、自分の理想の看護士になることが出来ることを嬉しく思います。また、この大学で地域医療などについても詳しく学びたいです。また、サークル活動も積極的に、文武両道を目指していきたいと思っています。

**松本 樹利菜** まつもと じゅりな 学部生

学校に行けるようになったばかりで分からないことが多く、不安もありますが、徐々に慣れて行けたらと思います。理想の看護士になるように勉強に一生懸命取り組みたいです。

**松本 啓那** まつもと ひるな 学部生

幼少期から思い描いていた看護士という目標へ一歩進むことができて嬉しいです。人との関わりを大切にしながら積極的に学び、楽しく充実した大学生活を送りたいです。

**溝井 梨華子** みぞい りかこ 学部生

オンライン授業という形式でのスタートでしたが、徐々に慣れ、新しい友人との交流も増えていっています。部活だけでなく、良い友人関係を構築し人間性も高められるように頑張りたいです。

**村上 千怜** むらかみ ちかこ 学部生

通常とは異なる形で大学生活がスタートしましたが、その分時間を無駄にしないように生活しています。勉強も部活も全力で頑張りたいです。

**森 可菜子** もり かなこ 学部生

今までにならぬ状況での大学生活のスタートであったため不安もたくさんありましたが、今は楽しく過ごせています。また、先生方のお優しいのおかげで感謝しています。

**山崎 保奈美** やまざき ほなみ 学部生

例年とは違った学校生活の始まりを迎え、何もかもが初めての経験でまだ慣れない事ばかりですが、取組む夢を実現するために勉強や部活動に全力で取り組む、充実した学校生活を送れるよう頑張りたいです。

**渡邊 明日香** わたなべ あすか 学部生

新しい環境で戸惑いもありましたがポジティブに頑張ります。様々な活動を通して色々な人と関わり、有意義な学校生活にしていきたいと思っています。

**渡邊 一葉** わたなべ かずは 学部生

4年間の大学生活が有意義なものになるよう頑張りたいです。

**小林 未夢** こばやし みゆ 学部生

多くの方々に支えていただきながら、福島県立医科大学で学ぶことが出来、お礼の気持ちです。自分自身も将来多くの方々に支えていただけるような看護士になれるよう日々努力していきたいです。

**小松 玲奈** こまつ れいな 学部生

中学生の頃から目指していた福島県立医科大学に入ることができ、とても嬉しく思います。自分の理想とする助産師になるために大学院進学を目指し、勉強に励んでいきたいです。

**近藤 萌衣** こんどう めい 学部生

コロナのせいでまだ大学生という実感があまりないですが、大学生活エンジョイできるように勉強頑張りたいです。

**紺野 まりあ** こいの まりあ 学部生

入学してから約4か月が経ち、少しずつ遠隔授業にも慣れてきました。毎日充実した生活を送っています。将来看護士になるために頑張りたいです。

**坂本 菜摘** さかもと なつき 学部生

4月1日スタートで講義を受けて、少しづつ看護士になつたんだなと実感しています。11月には実習があるのだから、頑張りたいと思っています。また、早く部活に参加して先輩たちと運動したいです。

**佐久間 貴子** さくま たかこ 学部生

私は将来は生まれ育った福島県の医療に貢献したいと考えています。そのために、日々の積み重ねを大切に、周りからたくさんのお言葉を吸収しながら、4年間を過ごしていきたいです。

**佐久間 颯** さくま はやて 学部生

看護学部というところで予想していた通り男子学生は少なかつたが協力して頑張りたいです。

**櫻井 健雄** さくらいたけお 学部生

前期がほとんど学校にいけず、部活動も参加できなかった。また、大学での生活は100%で楽しめてはいませんでした。しかし、その分後期や次年度以降の学生生活をより充実したものにしてほしいと思っています。

**佐々木 愛実** ささき めぐみ 学部生

遠隔講義が始まった大学生活ですが、最近では少しずつ大学へ足を運ぶ機会が増え、嬉しく思っています。これからの4年間、常に目標をもつて勉強に励むことはもちろん、様々な経験を積んで成長していきたいです。

**佐藤 亜香里** さとう あかり 学部生

私は将来、出産だけではなく女性の生に寄り添える助産師になりたいと考えています。そして地元である福島県に貢献できるよう医療に関する幅広い知識、技術を身につけて、充実した4年間にしていきたいと思っています。

**會田 佳代子** あいだ かのこ 大学院生

精神科病院に勤務しながら、自分より年下の同級生達と楽しく学んでいます。いつかにもなりたいと思ひたい。その時、その時と学んでいきたいと思います。

**阿部 ひろみ** あべ ひろみ 大学院生

この度、大学院看護学研究科に入りました。仕事と両立しながら通学しており、大変さや不安もありますが、学ぶ機会を得ることができ、大切に日々学んでいきたいと考えています。これから、大学院生活が充実することを願っています。

**大内 美奈** おおうち みな 大学院生

7年前に本学部を卒業後、臨床で助産師として勤務し、福島に戻ってきました。新たな出会い、新たな学びに感謝する日々です。臨床で学んだことを振り返りながら、人としても大きく成長できるように、努力し続けていきたいと思います。

**金田 須美枝** かねだ すみえ 大学院生

看護師のメンタルヘルスに関心があり、精神科看護を学びたいと思ひ、大学院に入学しました。精神科の看護は何かを考へ、実践できるようなりたい。そして、看護師のメンタルヘルスに貢献できるように頑張りたいです。

**鈴木 いり子** すずき いりこ 大学院生

数十年前のうちに学生になり、気分新たに大学生活をスタートさせています。仕事ながらの学業は確かに楽にはありませんが、今は学べることに嬉しく感じています。生懸命頑張りたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

**高崎 千聡** たかさき ちさこ 大学院生

保健師の専門性と併せて、日々の業務の中で葛藤があり、改めて保健師の仕事の深めたいと思ひました。様々な経験をもつ先生や院生の講義は、とても勉強になりました。今後の保健師人生の糧となるよう精一杯頑張りたいと思っています。



## 大学院 看護学研究科 新入生 コメント

# COVID-19

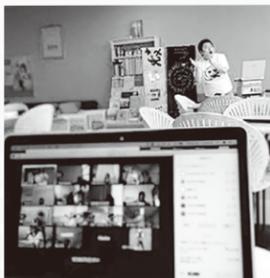
## コロナ影響下での取り組み



### 学生サポート ZOOMランチ会について

ふくしま看護モデル検討部会 菅野 久美

ZOOMランチ会は、COVID-19より影響を受けた看護学部学生を支援するために、ふくしま看護モデル検討部会が立ち上げたプロジェクト活動のひとつです。



これは、遠隔授業システムを拡大利用し、お互いの顔を見て会話する形式のランチ会で、全国の大学においても先駆的な取り組みとなりました。6/3(水)より7/17(金)までの合計11回、学生の不安や孤立感を少しでも緩和できるように、また、いつでも学生を見守っていることを伝えられるようお願いを込めて…



授業の合間の時間を利用し、開催しています。

毎回テーマを設けて、学生と看護学部教員が楽しく自由に参加できること、新1年生や男子学生を対象とするなど考慮して企画していました。参加人数にばらつきはありましたが、通学ができない期間に

### 遠隔講義について

教務委員長 和田 久美子



4月から感染症予防対策として遠隔授業を中心に実施してきました。しかし、看護学として技術演習は重要な位置づけとなっています。

そのため、緊急事態宣言解除後、感染状況を踏まえたうえで、大学内での技術演習を行っています。その際には、感染症予防対策として、2週間の健康状態の確認、当日の健康状態の確認を行ったうえで行いました。また、実施の際には、いわゆる3密を避けた実施となるように事前に計画し実施しています。

(わだ くみこ)



大学とのつながりを求めて毎回参加してくれる学生や後輩を気遣う上級生の存在も明らかとなりました。

また、学生からの直接的なニーズを聴き取ることができ、学生サポートの一助になったと考えられます。

(かんの くみ)



## 新任のごあいさつ

これからよろしくお祈りします！



### 着任のご挨拶

成人老年看護学部(成人看護学)

佐藤 菜保子



令和2年1月に着任しました佐藤菜保子と申します。春から本格的に

的に本学の学生さんにお会いできるのを楽しみに準備していましたが、COVID-19の影響で想像と全く違う新学期となり(もしかしたら新入生さんに近い様な?)とまどいの春を過ごしました。担当したオンライン授業でのやり取りや課題、バスの車中でお話しした定期試験後の学生さんの様子から、困難な状況にあっても明るい気持ちや笑顔を忘れない、素敵な学生さんが多いなあと感じています。学生さん、教職員の皆さん、看護や研究に関心のある皆さん、感染症が収束したらぜひ気軽に研究室に遊びに来て下さい。看護の面白さや可能性についてたくさん語り合いたいです。これからどうぞよろしくお祈り致します。(さとう なおこ)

### 着任のご挨拶

母性看護・助産学部

篠原 好江



4月より「母性看護・助産学部」に着任いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策による3密回避の中、本学での仕事が始まりました。着任前には、学生の皆さんや先生方、キャンパス、地域を早く知りたい・触れ合いたいというワクワク感と期待で一杯でしたが、学生に会えないままのリモート授業、家と大学の往復のみで残念です。はじめての福島県での生活、一人暮らしですが、皆さまのおかげで少しずつ生活にも慣れてきました。許されるなら早く県内の色々なところに出かけて人や地域をもっと知りたいと存じます。「人との関係を大切に」「愛情をもって接する」が私の教育観の源です。COVID-19対策をしながら、ぜひ頑張っていきたいと思います。お願い申し上げます。(しのはら よしえ)

### ご挨拶

小児・精神看護学部

白土 朝子



昨年8月に小児・精神看護学部の助手に着任し、1年が経ちました。

私は本学の卒業生です。構内を歩くと、懐かしの大学青春時代をついこの間のように(っ)思い出します。卒業後は附属病院の産科病棟と小児病棟に勤めたのち、宮城県立こども病院に転職し、かれこれ十数年小児看護分野に携わっております。一度臨床を離れ、母校で学生のみなさんと同じ目線に立ちながら、子どもの看護について学習しようと思っております。学生のみなさんは小児看護に対して、どんな印象をお持ちですか?私もいろいろな子どもと出会ってきましたが未知の世界。ぜひ学生のみなさんと奥深さを共有できたらいいなと思っています。どうぞ気軽に声をかけてください。(しらと あさこ)

### 新任のご挨拶

基礎看護学部

蓬田 美保



本年4月より基礎看護学部助手として着任致しました。

本学部の13期生であり、卒業後6年間附属病院で看護師として勤めておりましたが、この度ご縁があり、尊敬する恩師の下で働かせて頂けることとなりました。コロナ禍という例年と異なる体制を強いられる状況であっても、先生方の教育に対する熱意に感銘を受けるとともに、学生の皆さんとの関わりを通し、素直な感性に触れ、自分自身と向き合い、また、臨床経験を振り返る貴重な機会を頂いております。「看護とは何か」、「患者さんに寄り添うとはどういうことか」という看護の本質を追究すべく、学生さんとともに学び、成長していければと思っています。どうぞよろしくお祈り致します。(よもぎだ みほ)

### よろしくお祈りいたします

母性看護・助産学部

大内 美奈



6月より母性看護・助産学部に着任いたしました。大内美奈です。

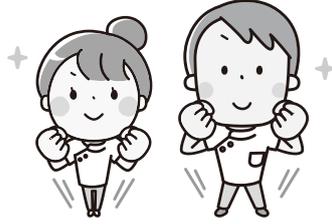
私は本学の看護学部12期卒業生です。今年の2月まで都内の病院で助産師として勤務しておりました。この度縁あって7年ぶりに福島に戻ることができ、とても嬉しく感じております。臨床で働いていた時に出会った全てのものに感謝しながら、これからの出会いも自分の成長に変えていけるように努力していきたいと思っております。臨床で働いている時に、学生の頃、先生方に頂いた言葉の一つ一つが、自分の助産師像につながっていると感じました。そのような関わりを目標に、学生の皆さんと共に学び成長していけるように精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお祈りいたします。(おおうち みな)

# 令和元年度 卒業生の国家試験結果と進路

## 令和元年度 保健師・助産師・看護師国家試験の合格状況

令和2年3月19日現在

令和元年度の国家試験の合格状況は、保健師、助産師、看護師ともに、全国平均合格率を上回る結果となりました。



### ■ 助産師

	令和元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
受験者(人)	6	6	7	7	7
合格者(人)	6	6	7	6	7
合格率(%)	100.0	100.0	100.0	85.7	100.0
全国合格率(%)	99.5	99.9	99.4	93.2	99.8

### ■ 保健師

	令和元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
受験者(人)	80	79	87	86	84
合格者(人)	78	65	73	83	82
合格率(%)	97.5	82.3	83.9	96.5	97.6
全国合格率(%)	96.3	88.1	85.6	94.5	92.6

### ■ 看護師

	令和元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
受験者(人)	80	79	87	86	85
合格者(人)	79	78	87	83	84
合格率(%)	98.8	98.7	100.0	96.5	98.8
全国合格率(%)	94.7	94.7	96.3	94.3	94.9

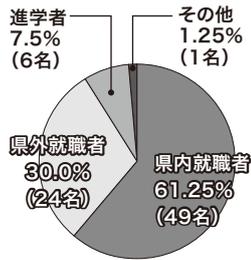
## 令和元年度 看護学部卒業生の進路状況

令和2年3月現在

令和元年度の看護学部卒業生の主な就職先は、福島県内49名、福島県外24名で、就職した学生のうち約60%が県内での就職を選択しました。

また、福島県内に就職した学生のうち32名が本学附属病院に就職しました。

### ■ 卒業生のうちわけ



### ■ 就職(県内)

就職先	職種	市町村	人数
福島県立医科大学附属病院	看護師	福島市	29
	看護師、助産師	福島市	2
	助産師	福島市	1
福島赤十字病院	看護師、助産師	福島市	1
医療法人辰星会併病院	看護師	二本松市	1
坪井病院	看護師	郡山市	1
星総合病院	助産師	郡山市	1
総合南東北病院	保健師	郡山市	1
いわき市医療センター	看護師	いわき市	1
いわき市医療センター	助産師	いわき市	1
国立病院機構いわき病院	看護師	いわき市	1
福島労災病院	看護師	いわき市	1
公立藤田総合病院	看護師	国見町	1
相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会	看護師	相馬市	1
福島県	保健師	福島県	1
福島市	保健師	福島市	2
いわき市	保健師	いわき市	1
平田村	保健師	平田村	1
会津坂下町	保健師	会津坂下町	1
県内就職		計	49

### ■ 就職(県外)

就職先	職種	都道府県	人数
秋田赤十字病院	看護師	秋田県	1
国立病院機構米沢病院	看護師	山形県	1
茨城県立こども病院	看護師	茨城県	1
筑波大学附属病院	看護師	茨城県	1
自治医科大学附属病院	看護師	栃木県	1
自治医科大学附属さいたま医療センター	看護師	埼玉県	1
埼玉県立病院	看護師	埼玉県	1
上尾中央総合病院	看護師	埼玉県	1
戸田中央総合病院	看護師	埼玉県	1
順天堂大学医学部附属浦安病院	看護師	千葉県	1
慶應病院	看護師	東京都	1
東京女子医科大学病院	看護師	東京都	1
河野臨床医学研究所第三北品川病院	看護師	東京都	1
東京大学医学部附属病院	看護師	東京都	1
医療法人財団青溪会胸木野病院	看護師	東京都	1
虎の門病院	看護師	東京都	1
神奈川県立がんセンター	看護師	神奈川県	1
横浜市立大学附属病院	看護師	神奈川県	2
横浜市立大学附属市民総合医療センター	看護師	神奈川県	1
新潟大学医歯学総合病院	看護師	新潟県	2
小山市	保健師	栃木県	1
横浜市	保健師	神奈川県	1
県外就職		計	24

### ■ 進学

進学先	人数
総合衛生学院	2
仙台医療センター附属仙台看護助産学校	2
山形大学	1
母子保健研修センター助産師学校	1
進学	計 6

編集委員  
 太田昌一郎  
 高橋 香子  
 井上 水絵  
 佐藤 利憲  
 横山 郁美  
 鹿俣 律子  
 亀岡 康子

明日は今日よりも笑顔になれるみなさんでいてください。  
 太田 昌一郎

### 編集後記

1年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。コロナ禍、新しい生活様式には慣れましたか？  
 自分は今なさんと4月からパソコンやタブレット越しにしかお会いできませんでした。今まで、教室や実習室で対面でしか授業を行ったことがなかったので、みなさんのリアクションがわからず、なんとなく歯がゆい思いが募っていました。言い訳ですが、自分の授業はライブが面白いのです(自画自賛！)。7月下旬の実習や試験のときにみなさんの元気な姿と会えてうれしくなりました。